

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課 土肥美実	電話番号	0852-22-5228
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	海岸保全事業（港湾）		
目的	(1) 対象	港湾海岸背後の住民	
	(2) 意図	侵食や高潮による海岸の被害を防止し、安全で安心して暮らせるようにする。	
事業概要	港湾海岸背後の住民の生命、財産及び公共施設を海岸侵食による被害から防護するため、海岸保全施設を整備する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 海岸保全施設の整備率	目標値		97.4	98.7	99.4	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 海岸保全施設の実施済み延長/海岸保全施設の計画総延長	実績値	96.0	98.1				
		達成率	-	100.8	-	-	-	%
2	指標名 浸水想定区域面積	目標値		4.0	1.1	0.6	0.0	ha
		取組目標値						
	式・定義 海岸保全施設の整備により減少する浸水想定区域面積	実績値	9.0	4.0				
		達成率	-	100.0	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	301,302	413,749
うち一般財源 (千円)	26,715	47,690

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 久手港海岸では侵食が進んでいる箇所があり、離岸堤改良にH26年度着手。 三隅港海岸では離岸堤の整備を進めてきたが、砂浜の回復を図るため、H27年度から突堤工事に着手。 益田港海岸では離岸堤の整備により、砂浜が回復してきた。 別府港海岸では高潮対策として、離岸堤を整備中、また養浜により海とふれあえる浜辺の整備を実施中。 七類港海岸、田儀港海岸、浜田港海岸については整備を完了。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 施設整備済みの区間において、海岸侵食が止まり、砂浜が回復するなど事業効果の発現が見られる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 離岸堤の整備を主体とした海岸保全対策を進めているが、離岸堤のみでは侵食対策が不十分な海岸もある。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 海岸により海岸侵食や堆積のメカニズムが異なり、様々な対策が求められる。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 離岸堤工事に併せ、航路浚渫した砂を養浜に使用するサンドリサイクルなどを行い、侵食防止対策を効果的に進める必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 益田港海岸・久手港海岸では、離岸堤工事に併せ、航路浚渫した砂を養浜に使用するサンドリサイクルなどを行い、侵食防止対策を効果的に進めて行く。 三隅港海岸では、離岸堤3基が完成し、今後突堤と養浜の整備を進めて行く。 別府港海岸では、養浜により海とふれあえる浜辺を整備しており、残る離岸堤の整備を急ぐ。
--